

令和8年度 組織目標展開整理表 (部の組織目標)

作成日 令和8年4月1日

職名 都市企画部長 氏名 細川 啓明

| 番号 | 実施項目<br>(業務目標又は事務の内容)     | 計画・方針<br>等の分類 | どの水準まで<br>(達成水準又は遂行後の状態等)  | どのような方法で<br>(目標等を達成するための取組の内容等)  | いつまで<br>(期限) | 共通/課名   |
|----|---------------------------|---------------|--|--|--------------|---------|
| 1  | アーバンデザインセンターの本格稼働に向けた事業推進 | 市長特命          | 任意団体となり、実務推進体制が整っている。<br>次年度以降の事業計画及び組織目標、成果指標が定まっている。<br>社会実験や市民ワークショップ等、次年度事業に繋がる事業の試行実施がなされている。 | ・アーバンデザインセンター運営協議会による検討<br>・事業の試行実施による手法や成果、課題の検証<br>・先行事例の研究  | 年度末          | 都市計画課   |
| 2  | グランドデザイン等の策定推進            | 市長特命          | 次年度からの市民参加による検討に用いる基礎資料が整理されている。<br>グランドデザイン及び都市計画マスタープランの位置づけと関係性、策定の基本方針が整理されている。                | ・計画検討の骨子を見据えた基礎資料の整理・分析<br>・アーバンデザインセンターの支援による市民ワークショップ等による意見収集  | 年度末          | 都市計画課   |
| 3  | 農の風景育成地区等を活用した農地保全        | 個別計画          | 農の風景や農のある暮らしの価値や保全に向けた気運が醸成されている。<br>農の風景育成地区等を活用した農地保全策の検討が進んでいる。                                 | ・アーバンデザインセンターの支援によるシンポジウム等の開催<br>・農業関係者への説明会等による周知啓発<br>・農業関係者及び市民からの意見聴取                                  | 年度末          | 都市計画課   |
| 4  | バリアフリー基本構想に基づく取組の推進       | 個別計画          | 特定事業計画に基づく事業が、遅滞なく進んでいる。   | ・バリアフリー基本構想推進協議会による進捗点検・改善検討<br>・特定事業の進捗状況の公表<br>・当事者及び識見者を講師とする職員向け心のバリアフリー講習会開催                          | 年度末          | 都市計画課   |
| 5  | ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進      | ビジョン          | 市民、事業者及び職員の脱炭素に対する意識が高まっている。<br>ゼロカーボン行動計画(市域版、市役所版)に基づき、具体的な取組が推進されている。                           | ・市施設への再エネ電力の導入、対象拡大に向けた検討<br>・市施設照明のLED化に向けた現地調査、事業手法の検討<br>・再エネ・省エネ設備等助成制度の周知・実施<br>・熱中症予防に関する周知による適応策の実施 | 年度末          | ゼロカーボン課 |
| 6  | 環境保全に関する取組の推進             | ビジョン          | 環境基本計画(生物多様性地域戦略)が広く周知されている。<br>多様な主体と連携した取組が効果的・効率的に実施されている。                                      | ・ホームページ掲示内容の充実<br>・子ども向け概要版の活用<br>・現行の取組の検証及び改善<br>・推進体制の見直し   | 年度末          | ゼロカーボン課 |
| 7  | まちづくり活動支援の推進              | ビジョン          | まちづくりの担い手となる人材が育成されている。<br>事業者との協働が進んでいる。<br>修了生の活動が進んでいる。   | ・こくぶんじカレッジ人材育成講座の運営<br>・こくぶんじカレッジ修了生と連携した取組の実現   | 年度末          | 都市づくり課  |
| 8  | 各地区におけるまちづくりの推進           | 個別計画          | 「国分寺駅北口駅前通り」「けやき台団地」の将来像を見据えた、まちづくりの検討が進んでいる。  | ・駅前通りは、リーディング路線の決定を踏まえたまちづくり計画について、協議会との調整・検討<br>・けやき台団地は、管理組合等からの情報収集                                     | 年度末          | 都市づくり課  |
| 9  | 国3・4・11号線沿道の都市計画変更        | 施政方針          | 令和9年度末の都市計画決定に向けて、令和8年度末は、都市計画の原案の検討まで進んでいる。   | ・都市計画の具体的検討<br>・関係機関との協議・調整<br>・懇談会・説明会・ニュースの発行  | 年度末          | 都市づくり課  |

| 番号 | 実施項目<br>(業務目標又は事務の内容) | 計画・方針<br>等の分類 | どの水準まで<br>(達成水準又は遂行後の状態等)   | どのような方法で<br>(目標等を達成するための取組の内容等)   | いつまで<br>(期限) | 共通/課名          |
|----|-----------------------|---------------|---|---|--------------|----------------|
| 10 | まちづくり条例の運用            | その他           | 開発事業の手続及び整備基準の内容が事業者等に周知され、手続が円滑かつ効率的に行われている。   | ・提出書類の定型化・電子化の推進  | 年度末          | 都市づくり課         |
| 11 | 住宅マスタープランの改定          | 施政方針          | 空家対策計画、マンション適正管理計画を含む計画改定が完了している。   | ・市民ワークショップ<br>・改定案の検討・作成<br>・パブリック・コメントの実施  | 年度末          | 都市づくり課         |
| 12 | 空き家・空き地対策の推進          | ビジョン          | 管理不適正な空き家・空き地が減少している。   | ・所有者等への啓発<br>・特定空き家及び管理不全空き家の認定、勧告等の措置<br>・空き家相談員制度の活用<br>・相続財産清算制度の活用<br>・相談窓口設置の検討  | 年度末          | 都市づくり課         |
| 13 | 災害に強いまちづくりの推進         | ビジョン          | 木造住宅の耐震化が促進されている。   | ・耐震診断・改修補助等の継続と周知<br>・無料訪問耐震相談の実施<br>・耐震改修促進税制の周知<br>・周知方法の工夫   | 年度末          | 都市づくり課         |
| 14 | 居住支援に係る連携の推進          | その他           | 関係団体等との連携が進んでいる。  | ・居住支援法人、不動産団体、福祉部門、住宅部門による情報交換会の実施  | 年度末          | 都市づくり課         |
| 15 | 西国分寺駅周辺のまちづくりの推進      | ビジョン          | 当該地区の活性化に向けた取組がなされている。<br>合意書に基づき本契約(西国分寺駅東側市有地の事業用定期借地権設定契約)及び本契約満了後に向けた準備が適切に進められている。 | ・公共空間を活用した賑わいを創出する取組の実施<br>・当該地区の活性化や賑わい創出に資する地域の関係団体や地権者等との関係性の醸成<br>・合意内容(市への協力事項)についての具体案等の確認・事業者と関係課との調整<br>・次期契約期間満了時を見据えたロードマップの作成  | 年度末          | 西国分寺駅等<br>周辺担当 |
| 16 | 恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりの推進    | 個別計画          | 旧庁舎用地の利活用の内容を踏まえたまちづくりの検討が進んでいる。  | ・公共施設マネジメント室及び複合公共施設準備室との連携・情報共有<br>・民間事業者の提案に基づき地域関係団体等を含めた情報共有・検討<br>・鉄道事業者との継続的な情報共有   | 年度末          | 西国分寺駅等<br>周辺担当 |
| 17 | 西国分寺駅北口駅前エリア整備の検討     | ビジョン          | 西国分寺駅北口駅前エリアの街区整備方針案が作成されている。   | ・過年度成果と地元地権者の意向を踏まえた各種土地利用及び都市基盤の具体化<br>・土地利用計画のたたき台から土地利用計画案作成と事業区域の具体化<br>・西国分寺駅周辺全体を踏まえた都市計画変更の検討<br>・東京都をはじめとした関係機関等との協議・調整<br>・地権者の組織化、合意形成に向けた勉強会や個別にアライメント等の実施<br>・街区整備方針案の検討(行政計画)及び庁内調整の実施<br>・補助金等の活用及び地権者支援手法の検討<br>・西国分寺駅東側における取組と連携し、まちのニーズ把握と市街地整備の方向性研究<br>・西国分寺駅周辺のまちのニーズを北口駅前エリア整備へのフィードバック等検討 | 年度末          | 駅周辺整備課         |

| 番号 | 実施項目<br>(業務目標又は事務の内容) | 計画・方針<br>等の分類 | どの水準まで<br>(達成水準又は遂行後の状態等)  | どのような方法で<br>(目標等を達成するための取組の内容等)   | いつまで<br>(期限) | 共通/課名  |
|----|-----------------------|---------------|--|---|--------------|--------|
| 18 | 西国分寺駅北口整備用地の利活用推進     | 施政方針          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーバンデザインセンターと連携したイベント実施が実現している。</li> <li>・イベント以外の利活用に向けた方向性を見出している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こくフェス及びピアフェス等のイベントにおける利活用</li> <li>・駅前における人の滞留スペースとしての試験的開放</li> </ul>  | 年度末          | 駅周辺整備課 |
| 19 | 国分寺駅南口再整備の推進          | ビジョン          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備の基本設計が進み整備基本計画案が決定されている。</li> <li>・再整備に向けた実施設計に着手している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備基本方針決定のための市民意向の把握</li> <li>・再整備基本方針を踏まえた基本設計と再整備基本計画案の検討</li> <li>・基本計画検討のための団体ヒアリング及び市民意向把握の実施</li> <li>・実施設計着手に向けた各種条件整理</li> <li>・関係機関との協議</li> <li>・補助金等活用の検討</li> </ul> | 年度末          | 駅周辺整備課 |
| 20 | 国分寺駅北口広場の賑わいの推進       | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広場を彩るイルミネーション等により賑わいが創出されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店会及び庁内関連部署との連携</li> <li>・関係機関との調整</li> <li>・イルミネーション拡大のための設備更新等</li> </ul>   | 11月          | 駅周辺整備課 |
| 21 | 国分寺駅北口駅前広場の効果的な運用     | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインに基づき適切な利活用の運用が実現している。</li> <li>・多様な利用者が利用しやすい仕組みの見直しが行われている。</li> <li>・次期予約システムにおけるイベント広場等の利活用検討が進んでいる。</li> <li>・デジタルサイネージ撤去後の駅前広場改善に向けた方向性の検討が進んでいる。</li> <li>・防犯カメラの交換と適切な運用が実現している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント広場等貸出運用における、課題改善と効果的な運用方法を検討</li> <li>・一定の利用者に偏らない仕組みの検討</li> <li>・貸出使用料算定の簡素化に向けた検討</li> <li>・ロータリー区域内の適切な運用に向けた検討</li> <li>・防犯カメラの新たな運用手法の検討・実施(12月から実施)</li> </ul>       | 年度末          | 駅周辺整備課 |
| 22 | 災害に強いまちづくりの推進         | 施政方針          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設した一般緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成制度を活用した耐震診断が進んでいる。</li> <li>・助成制度見直しを検討している。危険なブロック塀等の撤去が進んでいる。</li> <li>・遺漏なく、補助金を活用している。</li> <li>・被災建築物応急危険度判定員体制を強化している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建築物の所有者へ十分な説明がなされ、補助金を充用し、一般緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断を実施する。</li> <li>・危険なブロック塀等の現状把握、助成制度の未活用案件の分析を行い、制度の見直しを検討する。</li> <li>・応急危険度判定体制の見直しを図り、実施本部訓練、連絡訓練を検討する。</li> </ul>             | 年度末          | 建築指導課  |
| 23 | 建築基準行政事務の推進           | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命、健康及び財産を守り、安全・安心なまちづくりが進んでいる。</li> <li>・許認可、指定、是正指導等により、良好な住環境の整備が進んでいる。</li> <li>・法令・例規の改正に対応した審査・指導が適切になされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法を順守し、許認可や申請、定期報告における指導等を適確に実施する。</li> <li>・パトロール、及び迅速な現場対応と適切な指導を実施する。</li> <li>・事務作業の工夫・見直しを図り、事務の効率化、合理化を検討する。</li> <li>・行政会議等の情報が共有され、専門知識の向上を図る。</li> </ul>                | 年度末          | 建築指導課  |
| 24 | 建築基準行政事務におけるデジタル化の推進  | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに導入した、統合型GISに関して、事務量の分析等検証がなされている。</li> <li>・建築台帳等に係るシステムの導入の検討がなされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合型GISの導入前後の事務量について、比較検証する。</li> <li>・他自治体の各種電子申請、台帳システム等の運用状況、システム導入費用等を把握し、各種電子申請、台帳システムの導入可否を検討する。</li> <li>・タブレットの現場活用等を検討する。</li> </ul>                                    | 年度末          | 建築指導課  |

| 番号 | 実施項目<br>(業務目標又は事務の内容) | 計画・方針<br>等の分類 | どの水準まで<br>(達成水準又は遂行後の状態等)  | どのような方法で<br>(目標等を達成するための取組の内容等)   | いつまで<br>(期限) | 共通/課名 |
|----|-----------------------|---------------|--|---|--------------|-------|
| 25 | 適正な事務執行の確保に向けた方針      | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務フローに沿って、正確かつ迅速で、効率的な事務執行が行われている。</li> <li>・係・課・部・庁内における連携が図られている。</li> <li>・個人情報適切に取り扱われている。</li> <li>・適切なワーク・ライフ・バランスが確保されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の目的とアウトカムを意識、本質・ポイントの把握、新技術の活用等</li> <li>・自身の業務だけに捉われない広い視野による情報共有</li> <li>・慣れをなくし、常に意識を持った取扱いの徹底</li> <li>・スケジュール管理の徹底による業務の平準化</li> </ul>  | 随時           | 共通    |
| 26 | 職員の人材育成に向けた方針         | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に脱炭素を意識した行動がなされている。</li> <li>・自ら考え、責任を持った判断・行動がなされている。</li> <li>・広い視野と柔軟な発想が培われている。</li> <li>・プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、交渉力が向上している。</li> <li>・ハラスメントがなく、各人の能力が十分発揮できている。</li> <li>・積極的な地域との関わりがなされている。</li> <li>・デジタル技術が積極的に活用され効果的・効率的な新たな働き方が実現している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・些細と思われることでも実践する意識の徹底</li> <li>・個々の実力に応じた指示と自覚を促す意識の醸成</li> <li>・幅広い情報の収集、他自治体の特徴的な取組の紹介等</li> <li>・会議、説明会における発言の励行、機会の創出</li> <li>・円滑なコミュニケーションのとれる職場環境の確保</li> <li>・地域行事への参加</li> <li>・従前にとられない、新たな方法の模索・実践</li> </ul> | 随時           | 共通    |
| 27 | BPRの推進に向けた方針          | その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の財政状況について職員一人一人が認識理解を深めるとともに行財政改革の必要性を認識している。</li> <li>・行政手続のオンライン化、生成AIの利活用など、変化を恐れることなく能動的に業務改善の取組を進めている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の業務に係る予算のみならず、まず財政状況、キャッシュフロー等本市全体の置かれた状況を共有、認識する。</li> <li>・各課において今後の担当業務の在り方について、デジタル技術の有効活用などBPRの視点で行政サービスの最適化と効率化に向けた手法を検討し部内で共有する。</li> </ul>  | 随時           | 共通    |